

## シラバス参照

履修年度	2020
担当教員	葛目 知秀
連番	11200003302
曜日・時限・開講期	火曜日 4時限 前期
期間	前期
授業形態	講義
分野系列	(経済学部専門科目)
学年	2年生
単位	2
講義名	国際経済A
開講キャンパス	東松山
備考	<a href="https://www.daito.ac.jp/information/open/college/numbering/list.html">https://www.daito.ac.jp/information/open/college/numbering/list.html</a>
最終更新日	2020/02/06 17:15

授業の概要 (Outline of course)	「国際経済A」では国際経済学(International Economics)のうち、外国との財・サービスの取引(実物取引)を扱っている国際貿易論(International Trade)の基礎的な内容を理解することを目標とします。「なぜ外国との間で貿易がおこなわれるのか」、「その国の貿易パターン(輸出する商品・輸入する商品)はどのように決定されるのか」、「貿易の紛争解決手段にはどのような方法があるのか」といった問題を皆さんと一緒に考えていきます。この授業を通じて、現実の国際貿易問題を考える独自の視点を養いましょう。		
授業の到達目標 (Attainment targets of Course)	(1)ミクロ経済学の概念・手法を用いて、国際貿易の基礎モデルを理解・分析することができる (2)国際貿易の基礎モデルを用いて、現実の国際貿易問題に対し、自分の意見を述べるることができる		
授業の形態 (Course method)	講義形式でおこないますが、時間に余裕があれば、映像資料も使います。		
授業計画 (Class schedule)	回数	授業内容	担当教員
	第1回(Day 1)	ガイダンス:授業内容、授業の進め方、成績評価などについての説明	葛目知秀
	第2回(Day 2)	序章 国際経済学で学ぶこと	葛目知秀
	第3回(Day 3)	第1章 リカードの比較優位論(1):グローバリゼーションと国際貿易/アダム・スミスの絶対優位論	葛目知秀
	第4回(Day 4)	第1章 リカードの比較優位論(2):リカードの比較優位論/リカードの比較優位論の意味	葛目知秀
	第5回(Day 5)	第2章 ヘクシャー=オリーの比較優位論(1):ヘクシャー=オリーの貿易モデル	葛目知秀
	第6回(Day 6)	第2章 ヘクシャー=オリーの比較優位論(2):ヘクシャー=オリーモデルにおける貿易の利益	葛目知秀
	第7回(Day 7)	特別編パート1(日本経済新聞の記事を読んで、国際経済問題を考える)	葛目知秀
	第8回(Day 8)	第3章 現代の国際貿易論(1):収穫逦増な技術/規模の経済(1)-マーシャルの外部経済	葛目知秀
	第9回(Day 9)	第3章 現代の国際貿易論(2):規模の経済(2)-収穫逦増な生産技術の存在	葛目知秀

	第10回 (Day 10)	第4章 貿易政策(1): 貿易政策とは/部分均衡分析と一般均衡分析	葛目知秀
	第11回 (Day 11)	第4章 貿易政策(2): 部分均衡分析による自由貿易の効果/部分均衡分析による関税政策の効果	葛目知秀
	第12回 (Day 12)	第4章 貿易政策(3): 部分均衡分析による輸入数量制限の効果/部分均衡分析による輸出補助金の効果	葛目知秀
	第13回 (Day 13)	第4章 貿易政策(4): 一般均衡分析による小国の自由貿易の効果/一般均衡分析による小国の関税政策の効果/一般均衡分析による輸入数量制限や輸出補助金の効果	葛目知秀
	第14回 (Day 14)	特別編パート2 (DVDをみて、国際経済問題を考える)	葛目知秀
	第15回 (Day 15)	まとめ	葛目知秀
授業外の学習 (Way of self-study)	受講生の皆さんには、予習よりも復習に力を注いでもらいたいと考えています。そのため、宿題を数回、課す予定です。また、現実の国際貿易問題にも言及しますので、日々の新聞やテレビニュースを注意深く見て、自分なりの問題意識を持つように心がけて下さい。授業外の学習に必要な時間は1回の講義に対して4時間。		
教科書 (Textbooks)	多和田真(2010)『コンパクト国際経済学』新世社、1,943円 また、教科書の内容にもとづいたオリジナルプリント(A4サイズ)を配布・使用しますので、それらを整理するためのファイルやバインダーなどを用意して下さい。		
参考文献など (Books for reference)	石川城太・菊池徹・椋寛(2013)『国際経済学をつかむ(第2版)』有斐閣、2,376円 大川昌幸(2015)『コア・テキスト国際経済学(第2版)』新世社、2,915円 P.R.クルーグマン/M.オプストフェルド/マーク・J.メリッツ(著)山形浩生・守岡桜(翻訳)(2017)『クルーグマン国際経済学 理論と政策 原著第10版 上: 貿易編』丸善出版、4,400円 内閣府『世界経済の潮流』(各号)、1,365円		
成績評価の方法・基準 (Assessment procedures and Standards for Academic results)	評価方法	割合	評価基準
	筆記試験	70 %	期末試験(定期試験)をおこないます。
	実技評価	0 %	なし
	レポート評価	30 %	宿題として、数回課す予定です。
	平常点評価	0 %	なし
	その他	0 %	なし
履修上の注意 (Important notes for applying to the course)	「ミクロ経済学Ⅰ」と「マクロ経済学Ⅰ」をしっかり勉強して下さい。 また、後期の「国際経済B」も併せて履修すれば、国際経済学の全体像が分かります。		
連絡先・連絡方法など (Contact information/ way to contact)	授業の前後に、教室または教員控室にて、質問や相談を受け付けます。 メールアドレスは受講生を対象に公開します。		
その他 (Others)	特にありません。		
画像 (image)			
添付ファイル (File)			